

News Release

2024年12月13日
株式会社エクサウィザーズ
(コード番号: 4259 東証グロース)
株式会社 Exa Enterprise AI

静岡県が「exaBase 生成AI for 自治体」を本庁全職員へ導入

～庁内独自データをRAGで活用し、問い合わせ対応やデータ分析などに要する時間を大幅に短縮
職員の生産性の向上を実現～

株式会社エクサウィザーズ（東京都港区、代表取締役社長：春田 真、以下エクサウィザーズ）およびグループ会社である株式会社Exa Enterprise AI（本社：東京都港区、代表取締役：大植 択真、以下Exa Enterprise AI）は、静岡県（静岡市葵区、静岡県知事：鈴木 康友）が、「exaBase 生成AI for 自治体」を本庁全職員に導入したことをお知らせします。自治体向け生成AIサービスとして、2024年7月からの検証を経て2024年12月に導入しました。静岡県は、生成AIのRAG（データ連携）*を積極的に活用し、問い合わせ対応の文章、資料の作成やデータ分析など様々な行政業務の生産性を向上していきます。

* RAG（Retrieval Augmented Generation、ラグ）とは、独自のデータを生成AIで加工・分析できるようすることができる機能であり、生成AIを活用する上でより正確な回答が得られるなどの理由から注目が高まっています。



☑静岡県による検証について

静岡県が12月の本庁全職員導入に先立ち実施した検証フェーズでは、RAG機能を活用した多くの事例が確認されました。具体的には、FAQや問い合わせ対応マニュアルの作成、誤字脱字やガイドライン適合性等のチェック、データの関係性分析などが挙げられます。これにより、各種法令や要綱・要領、解説書、マニュアル、資料の検索、要約、文章作成にかかる時間を大幅に削減できることが実証されました。今後、全庁の職員に展開され、RAGが有効活用されることで、さらなる効率化が期待されます。

【生成AI利用促進 先行部署でのRAG（データ連携）活用事例】

要約：大規模災害査定のポイント要約、100本以上の動画グループのカテゴライズ

問い合わせ対応：文書事務の問合せ対応、会計事務相談業務

資料作成：FAQ作成、X（旧:twitter）投稿文案作成

校正：説明要旨の誤字脱字チェック、SNSにおける各種ガイドラインへの適合性チェック

評価・審査：予算要求関連資料の評価・審査

データ分析：well-being指標における「主観データ」と「客観データ」の関係性の分析

☑静岡県に提供する業務内容

Exa Enterprise AIが提供するexaBase 生成AIは、2023年6月の有料サービス開始以降、約650社、6万以上のユーザーにご利用いただいています。セキュリティやコンプライアンスを確保する機能、独自のファイルをアップロードしてプロンプトから活用する機能などが評価されており、顧客の要望に応じた生成AI活用の個別支援サービスも提供しています。

自治体向けには「exaBase 生成AI for 自治体」を2024年4月より提供しており、地方自治体向けの専用ネットワーク環境「LGWAN」への対応や、行政機関が利用しやすいライセンス体系、行政の業務で活用できるプロンプトのテンプレートを提供しています。

静岡県では、資料作成や要約、問い合わせ対応、データ分析など、全庁の様々な業務でexaBase 生成AI for 自治体を活用いただき、エクサウィザーズグループは以下3つの業務を提供します。

1. exaBase 生成AI for 自治体の、全職員への提供（2024年12月）
2. 利用ユーザーへの生成AIの基礎講習の実施や利用促進サポートの提供
3. exaBase 生成AI for 自治体のRAGを活用したユースケースの創出

なお、本件が2025年3月期業績に与える影響は軽微であります。

☑exaBase 生成AI for 自治体の機能・特長

（1）高いセキュリティとコンプライアンスへの対応

- ・生成AIのデータ処理を国内で完結
- ・行政専用ネットワーク「LGWAN」に対応
- ・会話内容の学習データとして利用しないオプトアウト設定
- ・禁止ワード登録、機密情報ブロック機能、ログ蓄積/レポート機能により、情報の漏えいを防止

（2）独自の支援機能による生産性向上

- ・組織内の規程や各種資料（PowerPoint、Word、PDF、CSV、txt）とのデータ連携機能により、高精度な回答の生成
- ・AI専門家が作成した、自治体用を含め10種類、約70のプロンプト（指示文）テンプレートを標準実装
- ・庁内のナレッジや特定業務専用プロンプトなどの独自プロンプトを登録可能
- ・生産性向上の時間効果を計算し、exaBase 生成AIの画面上で確認

（3）希望に応じて国外リージョンも含め様々な生成AIモデルが選択可能

- ・高精度・高速レスポンスのGPT-4o（国内リージョン）やGemini、Claude3など、用途に応じた使い分けが可能

【エクサウィザーズ グループについて】

エクサウィザーズは2016年の設立から、一貫して社会課題解決に取り組むためにAIを活用したサービスの開発・実装、戦略立案などの事業展開を行っています。年間約350件のAI・DX案件を行いながら企業の各部門や全社課題の解決をサポートする「AIプラットフォーム事業」、および、同事業に取り組む中で抽出した汎用的な業界・社会課題の解決に向け、プロダクトを開発・提供する「AIプロダクト事業」の両輪を通じて事業を展開しながら、独自のアルゴリズム・データを蓄積しています。

2023年10月に生成AIのサービスを企画・開発、提供するExa Enterprise AIを設立し、すでに約650社、6万人以上のユーザーに利用いただいています。

【エクサウィザーズ 会社概要】

会社名 : 株式会社エクサウィザーズ（証券コード4259）
所在地 : 東京都港区芝浦4丁目2-8 住友不動産三田ファーストビル5階
設立 : 2016年2月
代表者 : 代表取締役社長 春田 真
事業内容 : AIを活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決
URL : <https://exawizards.com/>

【Exa Enterprise AI 会社概要】

会社名 : 株式会社Exa Enterprise AI
所在地 : 東京都港区芝浦4丁目2-8 住友不動産三田ファーストビル5階
設立 : 2023年10月
代表者 : 代表取締役 大植 択真
事業内容 : 事業内容：生成AI等のテクノロジーを活用したプロダクト・サービス等の企画・開発・販売による企業の業務改革、生産性向上
URL : <https://exawizards.com/eai/>

<広報に関するお問い合わせ先>

株式会社エクサウィザーズ 広報 メール : publicrelations@exwzd.com